



Topics

感動との出会い「裏磐梯エコツアーフェスタ2007」

9月29日(土)・30日(日)の2日間

「裏磐梯エコツアーフェスタ2007」が開催されました。今年の体験プログラムは、なんと17プログラム。自然環境を守りながら観光振興へ生かそうとするエコツーリズムの理念のもとで開催されています。裏磐梯の魅力ってたくさんあるんだなあと感じますね。参加者の皆さんは、プログラムや会場イベントを通じて裏磐梯の美しい自然と地域の伝統文化に触れられたのではと思います。

30日(日)はあいにくの雨の中、実施されました。会場イベントには、夏祭り実行委員会の皆さんによる「会津磐梯山」。普天間かおりさん(裏磐梯観光大使)によるミニライブ。また体験プログラム報告会が行われました。

エコブースには「おやつまっぷ」からおやつやサンドイッチなどの販売。大塩からは手打ちそば。会津山塩の販売。消防署による救急車・消防車展示・煙、地震体験コーナーなどがありました。当協会では、エコツアー関連のパネル展示をはじめ、ススキを使っての「バッタ」と「ふくろう」を作ろう!というクラフトコーナーを設けました。自然の素材を使って作り上げた作品を見た来場者は「おもしろそう」と早速参加し、作り方を教わっていました。

村が一丸となって行ったフェスタでした。昨年の反省点となったゴミも今年はゼロとなり、手作り感のある素朴なイベントはとても和やかに、雨の中とても寒かったのですが、なぜかとても心が温まりました。

事務局



《ナイトウォーキングの様子》
夜の森はドキドキ・わくわく!!



《エコツアー協会のブースの様子》
ススキでバッタとふくろうを作っています

植物のその気になってみたら・・・楽しい物語が完成!

10月3日(水) サイトステーションにおいて

『植物と話しをしてみよう!』～その(木)気になって～が開催されました。講師は高橋真希さん(もくもく自然塾)と新井真知子さんです。視点を変えるだけで多くの自然が見えてきます。また、皆さんと一緒に知識を出し合うと図鑑より詳しい情報が集まるものですね!今回はレンゲ沼を4班に別れて歩き、その気になって、ある植物の作文を作りました。発表の時には高橋富二子さんによるとっても素敵なオカリナのBGMがありました♪

今回はその作文をご紹介します。

なんの植物かわかりますか?



カレッジ:『その木(気)になって』の様子

私の生まれは、風にふわふわ飛ぶ種からと、去年の身体の一部が土の中でじっとがまんして、雪どけとともに芽を出します。北海道から四国の山地にたくさんの家族がいます。身体は背が高く丈夫で、家族が集まって生きています。ピーヨピーヨとにぎやかな鳥が鳴く8月～9月頃、淡い藤色やピンク色の小さな花をたくさんつけて美しくなり、遠い沖縄から愛しい恋人が訪ねて来るのを待っています。その恋人は口が長くて、私の蜜を吸うのがとても上手で、その蜜で元気を養い遠い故郷へ旅立ちます。私は彼のお陰で受粉し家族を増やしています。葉の形やつき方の違うとても似ている親戚がいます。でも恋人は一途で、親戚には見向きもしません。私は葉が4枚輪生しているので、この名前になりました。

答え：ヨツバヒヨドリ



カレッジは宿泊業のオーナー、主婦、子供からおじいちゃん、おばあちゃんどなたでも参加できます。
今年こそはカレッジで学び、裏磐梯の宝を再発見・再認識いたしましょう。

裏磐梯エコツーリズムカレッジ 2007

主催：裏磐梯エコツーリズム協会（裏磐梯エコツーリズム推進協議会支援事業）

『磐梯山の噴火と共生』 裏磐梯学

～ジオパークをめざして～

- 日 時／2007年11月7日(水)10時～15時
- 会 場／自然環境活用センター（会場への問い合わせはご遠慮ください）
- 受講料／500円 ●定員／30名
- 講 師／佐藤 公さん（磐梯山噴火記念館副館長）

磐梯山の噴火が、現在の私たちの暮らしを作っています。

五色沼は遠い昔から存在しているように思いますが、実は119年前の噴火で形成されたものです。私たちはこの火山である磐梯山と共生していかなければなりません。

最近ユネスコで作られたジオパーク!?をご紹介し、新しい観光のあり方を提案します。

また、午後からは噴火口に近い銅沼（あかぬま）を訪れて、磐梯山の火山としての営みを感じてみませんか？

午前：講義（火山について、磐梯山の噴火、火山との共生、ジオパーク、泥流実験、記念館での説明等ほか）

午後：フィールド（裏磐梯スキー場～銅沼（解説）～裏磐梯スキー場）

※バスで移動いたします

雨天時：3D露頭→桧原大橋→野鳥の森→中瀬沼展望台→3D（大雨の時は別コース）

※ジオパークとは、科学的に見て特別に重要で貴重な、あるいは美しい地質遺産を複数含む一種の自然公園です。

おすすめコメント！

噴火記念館佐藤副館長による講座は必見です！
まだ磐梯山に登ったことがない方、まず噴火のお話を聞き、噴火の痕跡を辿り銅沼（あかぬま）まで行ってみましょう！！
眼下に広がる噴火の痕跡が見えてきます！

『裏磐梯の野鳥』 保全学

～生息域の変化とその調査手法」を学ぶ～

- 日 時／2007年11月20日(火)10時～12時
- 会 場／サイトステーション
- 受講料／500円 ●定員／30名
- 講 師／鈴木 弘之さん（福島県小鳥の森）

裏磐梯の森は、今なお成長を続けています。森が成長したり、環境が変わったりすると、野鳥たちの生息域も変わります。

昔と今と比較して、森の変化を感じて、森に住む鳥たちを見てみましょう！そうした変化を的確につかむための調査手法を学びます。

おすすめコメント！

普段目にしたり、声を聞いたりする野鳥。裏磐梯にはたくさんの鳥たちが生活しています。そんな話から…
今回はただ野鳥を観察するだけでなく、きちんとした調査手法を学びます。

『身近な生き物調査の方法とプログラム作り』育成学

- 日 時／2007年11月20日(火)13時30分～15時30分
- 会 場／サイトステーション
- 受講料／500円 ●定員／30名
- 講 師／今野 万里子さん（ピッキオ）

身近な生き物の調査手法と、効果的で楽しいプログラムづくりを学びます。

ガイドの方、ガイドを目指す方、独自に楽しいエコツアーを企画される方、みんなで楽しいプログラムをつくっていきましょう！

おすすめコメント！

ピッキオでは楽しいプログラムがたくさんあります。身近な生き物の生活を見てみるとドラマがあり、プログラムが作れます。そんなちょっと楽しいプログラムの作り方を学びましょう。

★今後のカレッジのお知らせ★2月以降の冬のプログラムも満載です！

2月 5日（火）10時～12時 『磐梯山周辺の魚類』：「分布と生息域の変化」を学ぶ

23日（土）13時～15時 『動物の足の裏から垣間見る野生動物の世界』

3月 18日（火）10時～12時 『冬の森を歩こう！』スノーシュー&ネイチャースキー

〃 13時～15時 『冬の鳥に会おう！』野鳥観察～入門編～

詳細・申し込みにつきましては、毎月発行予定の「裏磐梯エコツーリズム通信」でお知らせいたします。ご覧の上、ファックスまたはお電話にてお申し込みください。



11月のカレッジは盛りだくさん！！

一緒にスキルアップしましょう！

合宿型カレッジ

『ガイドのためのスキルアップ講座』育成学



● 日時／2007年11月12日(月)～13日(火)1泊2日

● 会場／裏磐梯高原ホテル（会場への問い合わせはご遠慮ください）

● 受講料／7,000円 ● 宿泊費（1泊4食付）10,000円 ● 定員／30名

● 講師／広瀬 敏通さん（ホールアース自然学校代表）

岩崎 仁さん（roots&fruits 代表）

プロジェクトワイルド ファシリテーター）

※ 福島ツーリズムガイドの地域別講座に該当します。

※ 終了後には「終了証」を発行いたします。

※ 会員の方は受講料が6,000円になる[会員限定受講料割引](#)を実施しています。

おすすめコメント！
ガイドの方だけでなく一般の方も参加できます。エコツーリズムとは何かを学びます。裏磐梯のエコツーリズムとは…一緒に考えてみませんか？

11月12日(月)

■ 10:00～10:30 『目的の共有』

～合宿のねらいと終了時の想定レベルについて～

□ 講師／広瀬 敏通さん

1 ■ 10:30～12:10 『エコツーリズム論』

～理念・定義・歴史・エコツーリズムを取り巻く最近の社会状況について～

□ 講師／広瀬 敏通さん

2 ■ 13:30～15:00 『裏磐梯の自然を学ぶ』

～自然資源、ガイディングテクニックについて～

□ 講師／広瀬 敏通さん&伊藤 延廣（裏磐梯エコツーリズム協会）

3 ■ 15:10～16:40 『エコツアーガイドの役割』

～従来型ガイドとエコツアーガイドの役割と方法の違い～

□ 講師／岩崎 仁さん

4 ■ 16:50～17:50 『皆で考える環境保全のあり方』

～国立公園における法規制を踏まえ、保全と利用について考えます～

□ 講師／コーディネーター 環境省裏磐梯自然保護官事務所 山本 豊

11月13日(火)

1 ■ 8:30～9:30 『エコツーリズムにおける「地域」論』

～主体としての「地域」の役割と、他主体との関係について～

□ 講師／広瀬 敏通さん

2 ■ 9:40～11:10 『伝える技術Ⅰ』

～「インタープリテーション」の意味と具体的手法について～

□ 講師／岩崎 仁さん

3 ■ 11:20～15:40 『伝える技術Ⅱ 実習』

～与件（工程、対象者、参加費、場所等）に基づくアクティビティデザイン～

□ 講師／岩崎 仁さん

■ 15:50～16:30 『ふりかえり』

～合宿を通して学んだ事、気づいた事、今後の活動について発表～

□ 講師／伊藤 延廣

